



デジタルサイネージ

クイックスタートガイド

法的情報

このドキュメントについて

- この文書には、製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図、画像、およびその他の情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートなどの理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのドキュメントは、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) をご覧ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社 (以下「Hikvision」) は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もいたしません。
- 本ドキュメントは、製品をサポートする専門家の指導と支援を受けて使用してください。

本製品について

この製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。

知的財産権の承認

- 本ドキュメントに記載される製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許権は、Hikvision が所有しています。これには、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書の一部 (テキスト、画像、グラフィックなど) は、Hikvision に帰属します。本文書のいかなる部分も、書面による許可なく、その全部または一部を、いかなる手段によっても、抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- HIKVISION** およびその他のヒクビジョンの商標およびロゴは、さまざまな管轄区域においてヒクビジョンの財産です。管轄区域においてヒクビジョンの財産です。
- 本文書に記載されたその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者の財産です。
- HDMI**™ HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許される最大限の範囲において、本文書および本文書で説明される製品 (ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む) は、「現状有姿」かつ「一切の瑕疵およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証は一切行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISION は、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない、特別、結果的、偶発的、または間接的な損害について、お客様に対して一切の責任を負いません。システム障害、または文書の喪失を含む損害について、契約違反、不法行為 (過失を含む)、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合であっても、HIKVISION は一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの性質上、セキュリティ上のリスクが内在していることを認識し、

HIKVISION は、サイバー攻撃、ハッカーの攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、一切責任を負いません。ただし、HIKVISION は、必要に応じて、タイムリーな技術サポートを提供します。

- お客様は、本製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、その使用が適用される法律に準拠していることを確保する責任はお客様にのみあります。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、または人権侵害を支援する目的での使用を含みます。
- 本文書と適用法との間に矛盾がある場合は、適用法が優先するものとします。

© 杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社。著作権所有。

適用モデル

本マニュアルはデジタルサイネージに適用されます。

記号の規約

本ドキュメントに記載されている記号は、以下のとおり定義されます。

記号	説明
 Note	追加の情報を強調または補足する。
 Caution	潜在的な危険な状況を指示し、回避されない場合、機器の損傷、データ損失、性能の低下、または予期しない結果を引き起こす可能性があります。
 Danger	回避しなかった場合、死亡または重傷につながる可能性の高い危険を示します。

安全に関する注意事項

ご使用前に、安全に関する情報をすべてよくお読みください。

- 本製品をご使用になる場合は、お住まいの国および地域の電気安全に関する規制を厳守してください。
 - 本器は、水滴や水しぶきがかからない場所に設置し、花瓶などの液体を入れた容器を本器の上に置かないでください。
 - 山岳地帯、鉄塔、森林など特殊な環境下では、装置の入力端子にサージプロテクターを装着してください。
 - ソケットアウトレットは、機器の近くに設置し、容易にアクセスできる位置に設置しなければならない。
- 0 電源を切った後も電気は残っている場合がありますので、裸の部品（インレットの金属接点など）には触れないで、少なくとも5分間は待ってください。
- +直流を使用するまたは生成する装置の正極端子を示し、-直流を使用するまたは生成する装置の負極端子を示します。
 - ろうそくなどの裸火は、本装置の上に置かないでください。
 - 換気口を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどの物品で覆うことで換気を妨げてはいけません。換気口は、ベッド、ソファ、ラグ、または類似の表面に装置を置くことで絶対に塞いではいけません。
- 0 電源アダプタが付属していない場合は、電源アダプタまたはその他の電源が「制限付き電源」に適合していることを確認してください。電源の出力パラメータについては、製品のラベルを参照してください。
- クイックスタートガイドの指示に従って装置をインストールしてください。

- 怪我を防ぐため、この装置は設置説明書に従って設置面にしっかりと固定してください。
 - 不安定な場所に装置を設置しないでください。装置が落下し、重大な人身事故または死亡を引き起こす可能性があります。
 - 追加の力は、装置の重量の3倍以上、かつ50 N以上である必要があります。N以上である必要があります。取り付け中は、本装置および取り付け手段がしっかりと固定されていることを確認してください。
 - 取り付け後、装置および関連する取り付けプレートを含むすべての部品は損傷を受けてはいけません。
 - テレビの製造元が推奨するキャビネット、スタンド、または取り付け方法を使用してください。
 - テレビを安全に支えられる家具を使用してください。
 - テレビが支持する家具の端からはみ出さないようにしてください。
 - テレビに接続されたコードやケーブルは、つまずいたり、引っ張られたり、つかまれたりしないように配線してください。
 - テレビを不安定な場所に置かないでください。
 - テレビを高い家具（例えば、キャビネットや本棚など）の上に置く場合は、必ず家具とテレビの両方を適切な支持物に固定してください。
 - テレビとそれを支える家具の間に布やその他の素材が挟まるような場所にテレビを設置しないでください。
 - テレビやテレビを設置した家具の上部に、子どもが登りたがるようなおもちゃやリモコンなどの物を置かないでください。
 - 鋭利な部分や角に触れないでください。
 - 注意：ブラケットが当社の特定の機種用に設計されている場合は、対応する機種にのみ使用してください。他の機種に使用すると、不安定になり、怪我の原因となることがあります。詳細については、データシートをご覧ください。
 - 注意：当社の特定のブラケットを使用して本機器を設置する必要がある場合は、対応するブラケットのみを使用してください。他のブラケット（カート、スタンド、キャリアなど）を使用すると、安定性が損なわれ、怪我の原因となることがあります。ブラケットの型式の詳細については、本機器のデータシートをご覧ください。
 - 音声再生機能付き機器の場合、聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間聴かないでください。
 - インターフェースは機種によって異なります。詳細については、製品データシートをご参照ください。
 - 配線、取り付け、または分解を行う前に、電源が切れていることを確認してください。
- 必ず電源を切ってください。
- 本器から煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、サービスセンターにご連絡ください。

目次

第1章 はじめに	1
第2章 操作とメンテナンスの注意事項	2
2.1 電源ケーブルの使用	2
2.2 清掃とメンテナンス。	3
第3章 設置準備	4
3.1 設置時の注意事項。	4
3.2 梱包内容一覧。	4
3.3 リモコン。	5
第4章 インストール	6
4.1 スタンドの組み立て手順	6
第5章 起動とシャットダウン。	7
5.1 デバイスの起動。	7
5.2 シャットダウン。	7
第6章 デバイス操作。	8

第1章 の概要

デジタルサイネージ（以下、「本装置」という）は、ベゼルが狭く、本体がスリムで、背面シェルが超薄型の4面均等設計が特徴です。シンプルな配線ガイド溝により、電源ケーブルと信号ケーブルを適切に配線、管理することができます。

デジタルサイネージは、横向きと縦向きを自由に切り替えることができ、複数のウィンドウで画像やビデオを同時に再生することができます。500から700 nitの高輝度、高記録の業務用ディスプレイ画面は、明るい環境でもコンテンツを鮮明に表示し、スマート広告やインテリジェントプロモーションに広く使用されています。

主要な機能

- ログのない3辺の均質なベゼルデザインは、すっきりとしたミニマルな外観を実現しています。
- 超薄型ボディと20%の光散乱防止AGガラスを採用し、優れた質感を実現。
- 2K/4K HD画質により、より詳細な画像表現を実現。
- 飽和度の高い広色域、クリアで広い視野角。

第2章 操作とメンテナンス 注意事項

本製品の液晶パネルは、高精度技術により製造されています。しかし、画面上に常に点灯している、または消えない小さな点、あるいは側面から見たときに色や明るさにムラがあるように見える場合があります。しかし、これらの現象は液晶ディスプレイの一般的な現象であり、製品の性能には影響はありません。

- 0 当社は、第三者の過失により生じた本製品の操作中の不具合、その他の故障または損害について、一切の責任を負いません。
- 0 火災や損傷の危険があるため、ほこり、高湿度、油や蒸気が接触する環境では使用しないでください。
 - 直射日光や強い光源の近くには置かないでください。
 - 強い放射線を発生する他の機器の近くには置かないでください。
- 0 本装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
 - 装置を不安定または安全でない表面に置かないでください。強い衝撃、振動、または振動を避けてください。
 - 火災の危険を避けるため、加熱装置の近くや高温の場所で使用しないでください。
 - 低温環境から高温環境に移した場合は、すぐに電源を入れしないでください。結露が蒸発するまでお待ちください。
- 0 装置内にいかなる物体も挿入しないでください。
 - 装置の上に重い物を置かないでください。
 - 本製品および付属品は、予告なく変更される場合があります。
- 0 ディスプレイは、落下や衝撃により破損しやすい壊れやすい材質を使用しています。取り扱いには十分ご注意ください。
 - デバッグ中や操作中に不適切な操作を行うと、装置に損傷を与える可能性があります。
 - 硬い物で本機を傷つけたり、叩いたりしないでください。本機の電源を頻繁にオン/オフしないでください。
 - 煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、サービスセンターにご連絡ください。

2.1 電源 ケーブルの使用

- 電源ケーブルが損傷または故障した場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が正しく接地されており、筐体の銘板に記載されている要件を満たしていることを確認してください。
 - 雨や湿気の多い環境に装置を置かないでください。雷雨の時は電源プラグとアンテナを抜き取ってください。
- 0 本機を長期間使用しない場合。本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源を切った後、短時間放電が続く場合があります。電源を切ってから2分ほど待ってから、本機の実行を行ってください。
- 本製品には、本製品に付属の電源ケーブルのみを使用してください。同じ仕様の電源ケーブルを購入するには、認定販売店にお問い合わせください。
- 電源が接地されていることを確認してください。
- 電源プラグおよびコンセントに、ほこりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- 0 ケーブルを熱源から離してください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルは、物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- 0 このケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他のデバイスには使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 後部シェルにある穴は放熱用です。後部シェルに液体をかけて噴射したり、湿った布で清掃したりしないでください。
- 0 清掃を行う場合は、電源プラグを抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- デバイスを清掃する際は、乾いた柔らかくほこりのない布を使用してください。
- 内部清掃については、サービスセンターまでご連絡ください。
- 適切なメンテナンスを行うことで、初期段階の故障を防止できます。
- 定期的にデバイスを清掃し、新品同様の状態で保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、または工業用化学薬品でデバイスを清掃しないでください。異物がデバイス内に侵入しないようにご注意ください。
- 装置のメンテナンスは、資格を持ったサービス担当者にご連絡ください。装置が損傷した場合、当社までご連絡ください。無断でのメンテナンスは行わないでください。

第3章 の設置準備

3.1 のインストール時の注意事項

- インストール前に、デバイスの画面と背面を清掃してください。最高のパフォーマンスを発揮するためです。
- 安全のため、メーカーが提供するウォールマウントまたはベースのみを使用してください。
- 壁への取り付けは、専門スタッフにご依頼ください。
- 取り付け前にアクセサリを確認してください。不足がある場合は、販売店にお問い合わせください。
- デバイスを過度に締め付けないでください。そうすると画面が歪む可能性があります。
- 吊り下げ部は、荷重を支える天井に設置してください。
- デバイスを安定した面に置いたり、壁にしっかりと固定してください。
- 電源接続が容易な、使用可能な AC 電源コンセントの近くに設置してください。信号の干渉を防ぐため、他の機器と同じアースケーブルを使用してください。
- 機械的な振動源の近くには置かないでください。
- 昆虫が侵入しやすい場所に本機を設置しないでください。
- 結露を防ぐため、デバイスをエアコンの吹き出し口に直接向けて置かないでください。
- 強い電磁場内に装置を置かないでください。無線干渉を避けるためです。

3.2 の梱包リスト

表3-1 パッケージングリスト

名称	数量	名称	数量
デジタルサイネージ	1	規制の遵守および安全に関する情報	1
スタンド	1	キー	2
M8ネジでスタンドを固定	6	リモートコントロール（タッチパネル式製品には含まれていません）	1
クイックスタートガイド	1	AC電源ケーブル	1
ベース固定ブラケット	2	キャスター	4
キャスターネジ（TM6×8mm）	1	拡張ネジ	2
ベース固定ブラケットネジ（BM4×8mm）	4		

Note

デバイスを設置する前に、デジタルサイネージおよびアクセサリをご確認ください。部品に破損や欠品がある場合は、お近くの販売代理店までお問い合わせください。

3.3 リモートコントロール

マウスを接続して操作するほか、赤外線リモコンを使用して操作することもできます。操作方法は、以下の画像をご覧ください。



図3-2 リモコン

Note

1. リモコンはバージョンによって異なる場合があります。実際の状況をご確認ください。
2. 非タッチ製品にはリモコンが付属していますが、タッチコントロールキャビネットにはリモコンは含まれていません。

Chapter 4 Installation

4.1 スタンド組み立て手順

スタンドとデバイスは工場出荷時に別々に梱包されています。スタンドを組み立てる必要がある場合は、以下の手順に従ってください:

- スタンドを取り付ける前に、デバイスの電源がオフになっていることを確認してください。
- デバイスを平らな面に柔らかいクッションを敷いた上に置き、画面を下向きにします。これにより、画面が傷つくのを防ぐことができます。

Steps

ステップ1 底面を上にしてベースプレートを取り出し、柔らかい台の上に置きます。

ステップ2 4つのキャスターを取り出し、ベースに取り付けます。各キャスターは、4本のTM6x8ネジで締め付けて固定します（図1を参照）。

ステップ3 キャスターを取り付けたら、2つのベース固定ブラケットを取り出し、ベースに取り付けます。各ブラケットは、2本のBM4x8ネジで締め付けて固定します（図2を参照）。

ステップ4 ベースの溝部分を、デバイスの底部の位置に取り付けます。

ベースとデバイスを6本のM8ネジで固定してください（図4参照）注意：ベースは前面と背面で区別されています（図3参照）

ステップ5 デバイスを適切な場所に置き、ベースブラケットの拡張ネジを地面に固定して、デバイスを締め付けて固定します（図5を参照）。

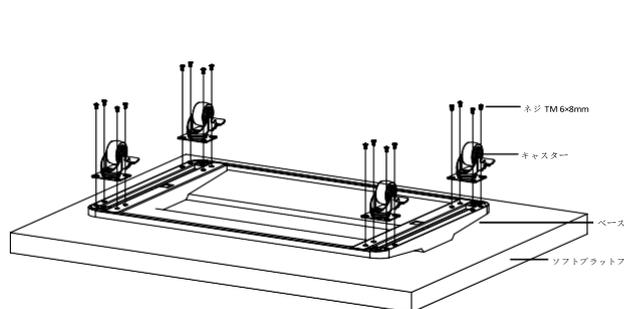


図1

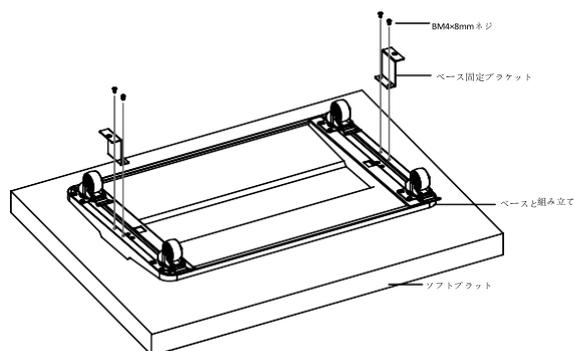
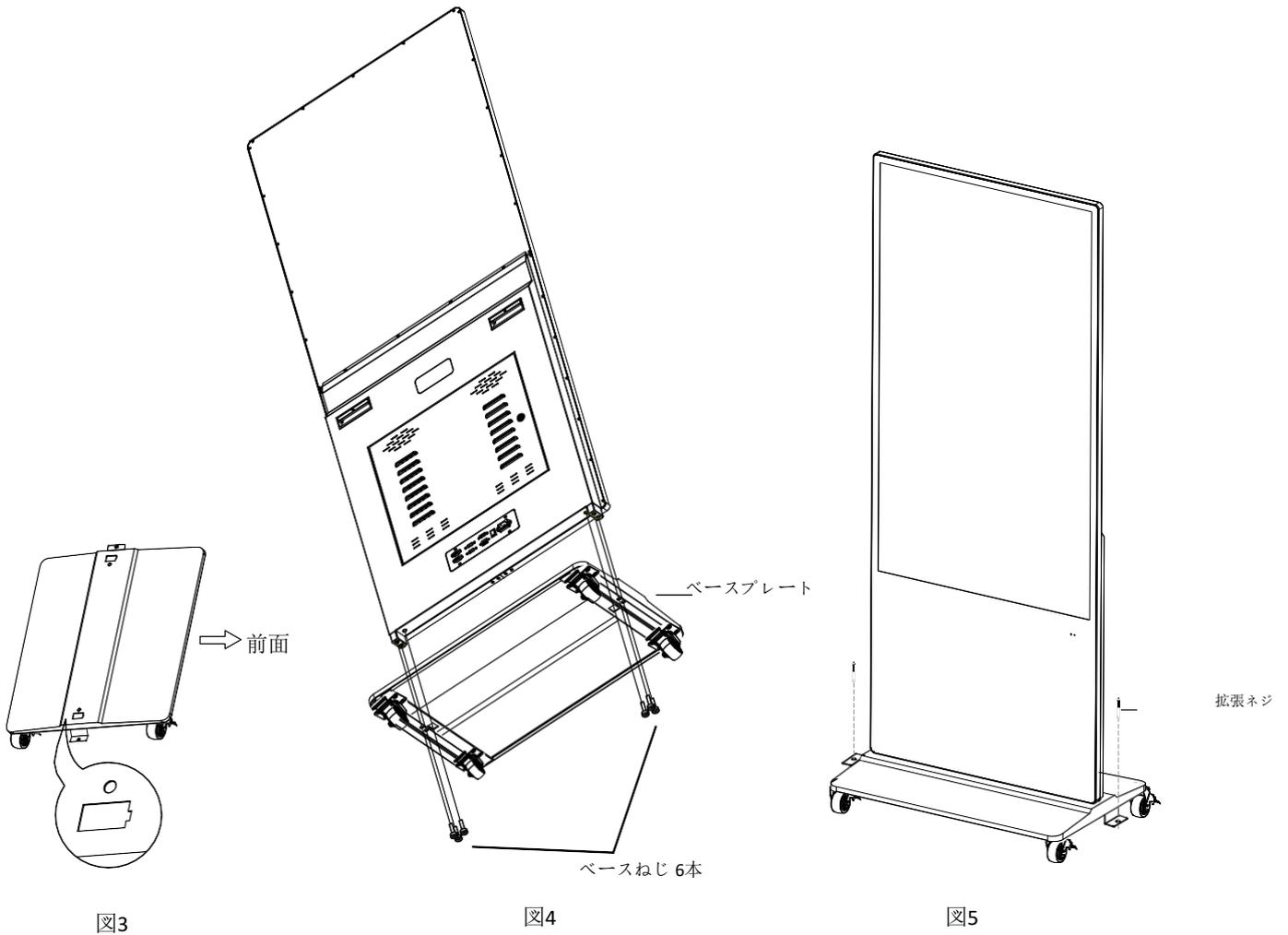


図2



Note

- ・この装置は室内設置専用であり、屋外広告には使用しないでください。
- ・長時間直射日光を避けてください。
- ・設置完了後、すべてのケーブルを整理してください。
- ・この装置の取り付けには、少なくとも2名の専門技術者が必要です。



第5章 起動とシャットダウン

5.1 デバイスの起動

電源に接続すると、自動的に起動します。

5.2 シャットダウン

電源を直接切断するか、リモコンの電源ボタンを長押しして、デバイスの電源をシャットダウンすることができます。

Note

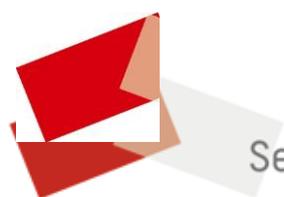
電源を抜き、リモコンの電源ボタンを押した後、リモコンの電源ボタンをクリックして、デバイスを起動することができます。  を押して、デバイスの起動を開始することができます。

第6章 デバイスの操作

QRコードをスキャンして、デバイスの操作詳細を確認してください。



図6-1 ユーザーマニュアル QRコード



See Far, Go Further